

# 感染症情報 6月2日～8日

府下小児科186医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1,263例(堺市	70例)
②溶連菌感染症	412例(堺市	57例)
③伝染性紅斑	398例(堺市	39例)
④咽頭結膜熱	201例(堺市	23例)
⑤突発性発疹	64例(堺市	1例)

府下292医療機関(堺市25)から

**インフルエンザ** 71例(堺市 7例)

報告数による順位。前週比1.9%増の2,552件であった。感染性胃腸炎は府下で前週から8%減、堺市で前週85例→今回70例。溶連菌感染症が府下で1例増、堺市で前週・今回とも57例。伝染性紅斑が府下で31%増、堺市で前週27例→今回39例。大阪府で定点当たり2.14、堺市は2.29でともに警報レベルの目安の2を超えた。咽頭結膜熱が府下で14%増、堺市で前週・今回とも23例であった。

インフルエンザが府下で前週65例→今回71例は9%増。堺市は前週・今回とも7例であった。全数把握疾患の百日咳は大阪府で78例→95例は22%増、堺市は0例→2例であった。今年に入ってから府内の累積報告数は1,502例となった。

府下292医療機関(堺市25)から

**新型コロナウイルス感染症** 262例(堺市 26例)  
大阪府定点 0.90 堺市定点 1.04

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で30%増、定点当たり0.69→0.90。堺市で16例→26例、定点当たり0.64→1.04。

府下292医療機関(堺市25)から

**急性呼吸器(ARI)感染症** 11,714例(堺市 1,153例)  
大阪府定点 40.12 堺市定点 46.12

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より4%増、定点当たり38.60→40.12、堺市で前回より2%減、定点当たり47.28→46.12であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。